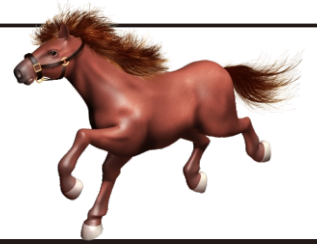




あけましておめでとうございます

平成26年元旦



平成26年新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。旧年中は自治会活動にご理解・ご協力、ご支援を賜り衷心より御礼を申し上げます。お陰様で、五ッ又の地域は昨年度も大過なく穏やかな1年を過ごせたのではないかと存じます。今年度も皆様の絶大な協力の下「安全で安心して暮らせる地域」として自治会活動を推進してまいりたいと思います。

さて、昨今関東直下型地震や西南海沖・東海沖地震等、何時起きても不思議ではないとの話題で騒然としております。大きな災害は起きて欲しくありませんが、万が一を想定して会員各位の安全を守るため「防災・減災」に向けて、力を傾注し取り組んでいきたいと思います。会員各位の更なるご支援とご協力をお願い致します。

結びに、会員各位の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ年頭の御挨拶と致します。幸多き一年でありますように。



グラウンドゴルフ大会開催

11月16日、南部公共広場で五ッ又グラウンドゴルフ大会が開催されました。参加者は62名でした。今年は去年に較べると穏やかで暖かく絶好のGG日和でした。

「去年楽しかったので今年も参加しちゃいました」という方もいて、はまってしまうのは時間の問題かも。ただ勝とうと思うなかれ。このゲームに関しては毎日のように練習されている方が多いのです。お気楽にやりましょう。でなければ相当な鍛錬をしなくてはね。

大人の部優勝は梅澤武男さん、第2位は星野 勝さん、大人の部（子どもコース）優勝は小峰隆行さん、第2位は根本裕志さん、子供の部優勝川瀬 楓、小峰 武さんでした。

照れ屋の皆さん、来年は参加しましょうよ。



北小ウィングクリスマスお楽しみ会

平成25年12月7日、北小体育館で、自治会長、副会長、青少年育成部員の出席を得て、北小ウィング「クリスマスお楽しみ会」が開催されました。いま五ッ又から北小に通う児童は153名、このうち115名が参加し、ジュニアリーダー6名の指導の下、「ハンカチ落とし」と「ビンゴ」で楽しい時間を過ごしました。ビンゴの賞品にはみんな相当な興味で、すでにもらった子が引き換え場所の舞台にまた上り、ためすつがめつ覗き込みます。次の機会の賞品ゲットの研究でしょうか。

この寒い時期、暖房のない体育館の床は冷たいはずですが、児童は半ズボンで座っても平気。寒くなった分、体を動かせば暖くなるのは児童に与えられた特権、走り回ってましたね。成人になるとこの論理を実践するのはちょっと無理。厚いコートが必要です。（次ページに写真掲載）



年忘れ高齢者の集い

9月16日の「敬老の日の集い」は最大965ヘクトパスカルまで発達し関東地方を襲った台風18号のため中止になりましたが、地域内のお年寄りにとっては年1回のお楽しみを奪われたた感じ。そこで12月15日にあらためてジョイフルで「年忘れ高齢者の集い」が催されました。参加いただいたのは70歳以上の方67名。これにスタッフ20名の87名でした。都甲徳一さんの民謡と踊りに、いずこから現れたか謎の大黒様が飴をばら撒く姿が大受け。最後はビンゴで高級賞品？が大当たり。

ジョイフルなど公共施設では今年から酒類のもてなしが禁止です。帰途の交通事故防止の観点からです。でも甘い飲料はノーサンキューの人がいて当然、そこで用意されたのがノンアルコールビール。観察していると面白いです。そんな飲み物でも顔が赤くなるのですね。気のせいかな。ただ興奮していただけかな。

今年は9月15日に元気でお会いしましょう。たまには訳もなく笑うのもいいですよ。



夜間パトロール

自治会の重要な仕事のひとつに夜間パトロールがあります。地区内の夜間の防犯のために巡回します。

今年は8月18～25日と12月12～19日の各8日間でした。担当は理事・副理事で、1日につき約10名が任務につきます。A・Bコースに別れ、Bコースは自治会館以南、ジョイフル方面まで回りますから1時間以上の行程になります。

冬場は寒いですが担当者は地区内の安全・防犯のため力を尽くすのです。

写真は冬のパトロールです。巡回中を1枚、12月13日巡回の担当者9名、12月16日担当の8名の勇姿です。帰り道にはどちらかの手にご苦労さまの土産を下げているのです。



赤い羽根募金

今年最後の募金活動は赤い羽根募金です。今年の五ツ又自治会では645世帯の賛同を得て、149,286円を集めることができました。ちなみに高階支会での実績は9,739世帯、2,438,824円でした毎度のご協力ところからお礼申し上げます。

餅つきの予告

森の公園は木の葉が落ちきって太陽の光がすみずみまでとどく時期です。陽だまりは風さえなければ暖かい。そんな環境の中で今年ももちつき会をやります。去年は50キロのもち米を用意しましたが、今年はさらに増やします。他所では省力化でもちつき機で下準備するなんて聞きますが、我がもちつき会は妥協しません。断固、臼と杵と人の力です。だからつきあがるまでお待ちいただくことになりますが。待つほどおいしくなるものですよ。

今どき、つきたての餅を食べられるのはこの日だけではないでしょうか。家族そろっておいでください。猪狩さんが作ってくれたトン汁鍋の蓋も初登場。参観しましょう。これで気温が低いため汁の温度が上がらない問題が一挙に解決かも。

平成26年1月12日 10時から 森の公園で。知ってると思うけどおいしいよ。

話のネタ

かつてありきシリーズ1

五ツ又にラーメン球場ありき

五ツ又自治会創立50周年記念誌に、かつて地内に桜・銀杏・柳を植えたという記述があります。美化を意図したようです。何本植えたかは書いてありません。場所は五ツ又交差点を入ったすぐのところの空き地であるとのこと。でもいまここを探してもそんな風景はありません。地内の桜といえば唯一存在を印象付ける大木が4区の中島宅の桜です。当主の中島千春氏に伺ってみましたら、この桜は45年前に先代が植えたものということでした。自治会の植樹とは違うようです。

そこでさらにあちこちお聞きしましたら自治会の植樹もおおむねそのころで、別に趣旨に賛同した方々が自宅に桜を植えたようだとのことでした。ただ桜はイラガなどの幼虫がつきやすいものです。この虫に刺されるとやけどのような症状がでます。治るのに1週間はかかります。もし木の下で子供が遊んでいて被害にあったとしたら可哀想です。桜はしだいに切られてしまった運命でした。

さて、50年史にある「空き地」とはどこでしょうか。五ツ又地区の開発の際に、投機目的で購入した方々がいました。現在の2区の都甲さんと50mほど東に寄った自治会館西隣の寺田さんの間の土地は4名の方が購入されたものの、家を建てることもなく長く空き地のままにされていました。当時30件ほどの住宅の周辺は、この空き地に限らずいずれも畑か山林でしたが、持ち主がいますから、立ち入ることはできません。だからこの空き地はこどもが遊ぶ場所として格好の場所でした。当時の子供たちは「原っぱ」と呼んでいました。この地が桜などを植えた空き地だったのではないのでしょうか。

この地に注目していたのは子供だけではありません。都甲さんのご兄弟が「ラーメン店」、川村さんの親族が「焼鳥店」を経営されていました。その前の空き地です。広い土地ではありませんがキャッチボール程度はできたでしょう。多分「ラーメン球場」はこの2店を生活の頼りにしていた大人たちがつけた名前でしょう。

この地は地主の了解を得て使えた場所だったのでしょう。時代が下っては五ツ又祭りの会場に使用していました。そう昔の話ではありません。祭りの開催場所は1986年に第5児童公園に移りましたが、それまで使われていたことになります。写真は川村さんからお借りしたものです。写真1は原っぱの大方の姿、写真2は祭りの風景です。懐かしい五ツ又の風景です。



五ツ又自主防災会とは 地域における防災活動の拠点



平成23年の東北地方太平洋沖地震以後、関東直下型・西南海・東海沖などを震源とする大地震がいつ起きてもおかしくないと予測されています。でも地震が起きるのは確実としても、いつどの程度の震度で起こるのかはいまの人間の知力では予知・予測できません。明日なのか30年先なのかそれすら知れません。

地震予測は人の意識を恐怖に縛り付けます。なぜなら地震はもちろん同時に発生する二次災害とそれからの生活がどう展開するかに対して深い不安があるからです。確かに、都心に勤務する家族が帰宅できるのは数日後、食料を自前で確保できるまでに1週間、ライフラインの簡易的復旧や住宅の確保に数か月かかるなど問題が山積します。

この事態に対し、公的サービスはどう対応できるでしょうか。川越市の職員数は400人程度、人口35万人に対し、0.1%しかいません。総体的に活動できても、個々の問題に関わりあえるはずがありません。では私たちはどう対処するか、考えるだけでも気の重い話です。

結局、復旧の作業は自分でしなければなりません。しかし、個人にどれほどの力があるでしょう。たとえ怪我をしていなくても、気力が失せた中で何ができるでしょう。

こんな時、生存に向けて、復旧に向けて、まずできることは近所の住民と手をつなぎあうことです。

全国的に各自治会に「自主防災会」が設置されていて、川越市も然りです。

「自治防災会は」大規模な地震が発生したときに、地域住民の生命を守り、被害を最小限にとどめることを使命とします。そのために地域の防災力を高め、災害発生時に効果的な防災活動ができる地域づくりをしなければなりません。

「自主防災会」を運営していくためのマニュアルがあります。今後このマニュアルを「五ツ又だより」上で簡略化し公開してまいります。マニュアル自体は内容が川越市の作成によるものですので、これに五ツ又自治会の独自の対応を加えながら掲載いたします。内容量が多いので数度の掲載になりますから、そのつどこのページを切り離し保存していただくとありがたく存じます。ご利用ください。



掲載する内容は以下の通りです。

自治会防災会の活動

1. 自主防災会の役割
2. 日常における活動
3. 地震災害発生時の活動
4. 風水害時の活動
5. その他

写真上は「防災活動マニュアル」の表紙、写真下は自治会玄関に設置してある、「五ツ又自主防災会本部」看板。

防災マニュアルは川越市のHPに掲載されています。「防災活動マニュアル配布」をキーワードにYahooなどで検索ダウンロードできます。マニュアルを先にご覧になりたい方はご利用ください。また1月中に五ツ又自治会ホームページにリンクを作ります。

「五ツ又だより」は過去の全号を含めて、五ツ又自治会ホームページにカラー版を掲載してあります。ぜひご覧ください。「五ツ又自治会ホームページ」で検索できます。